



OSM メモリのアップグレード

この付録では、オプティカル サービス モジュール (OSM) のメモリをアップグレードする手順について説明します。

この付録の内容は次のとおりです。

- [安全上の注意 \(p.C-1\)](#)
- [必要な工具 \(p.C-2\)](#)
- [OSM メモリのアップグレード \(p.C-2\)](#)

安全上の注意

誤って行うと危害が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。



警告

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

静電気防止用リストストラップ警告



警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

システムの動作時には、バックプレーンに危険な電圧またはエネルギーがかかっています。保守時には注意してください。

必要な工具

OSM 上のメモリをアップグレードするには、次の工具が必要です。

- 静電気防止用マットまたは静電気防止材
- No.1 プラス ドライバ
- 3/16 インチのマイナスドライバ
- 静電気防止用の器具またはすべてのアップグレードキット、Field-Replaceable Unit (FRU)、およびスペア製品に付属の使い捨て静電気防止用リストストラップ

モジュールまたはスーパーバイザ エンジンを扱う際は、必ず静電気防止用リストストラップまたはアース器具などを使用して、Electrostatic Discharge (ESD; 静電気放電) を防止してください。ESD の詳細については、『*Site Preparation and Safety Guide*』の「Preventing ESD」の説明を参照してください。

OSM メモリのアップグレード

ここでは、OSM 上のメモリの取り外しおよび交換の手順について説明します。

OSM 上の Synchronous Dynamic Random-Access Memory (SDRAM; 同期ダイナミック RAM) は、1 つの Small Outline Dual Inline Memory Module (SODIMM) 内に組み込まれています (図 C-1 を参照)。

OSM のデフォルトのメモリ構成は 64 MB で、Error Checking and Correction (ECC [1 ビットエラーの検出と訂正、2 ビットエラーの検出]) 機能が備わっています。このメモリは、128 MB、256 MB、または 512 MB にアップグレードできます。



(注)

使用できるのは、100 MHz SDRAM SODIMM のみです。SODIMM 上に、シスコ部品番号が記載されています。



注意

ESD による損傷を防ぐため、SODIMM を取り扱う際はカードの端だけを持ってください (図 C-3 を参照)。取り外した SODIMM は、静電気防止用マットの上に置くか、静電気防止用容器に収納してください。

SODIMM の取り外し



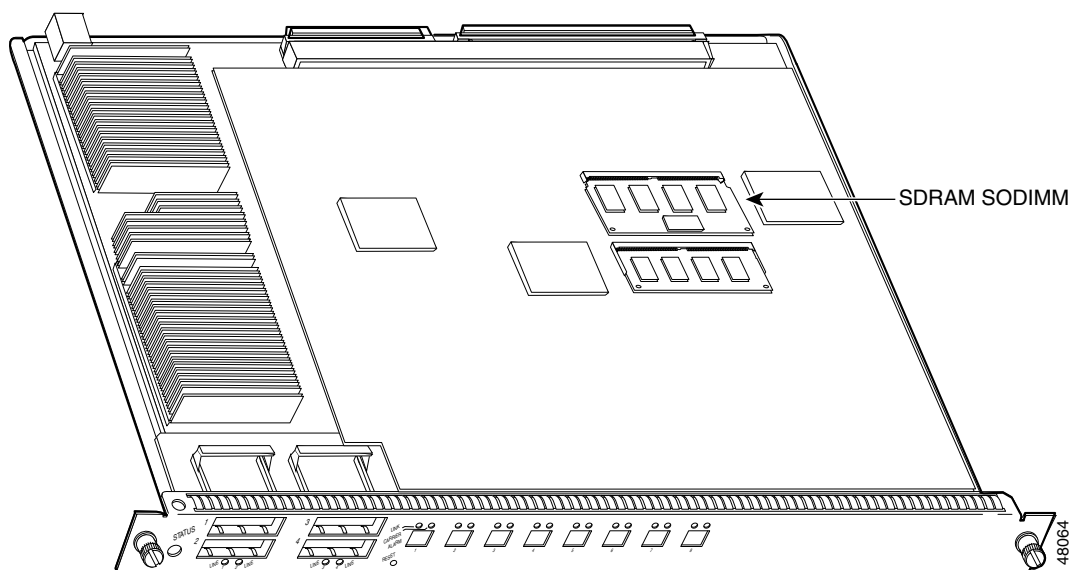
警告

システムの動作時には、バックプレーンに危険な電圧またはエネルギーがかかっています。保守時には注意してください。

既存の SODIMM を取り外す手順は、次のとおりです。

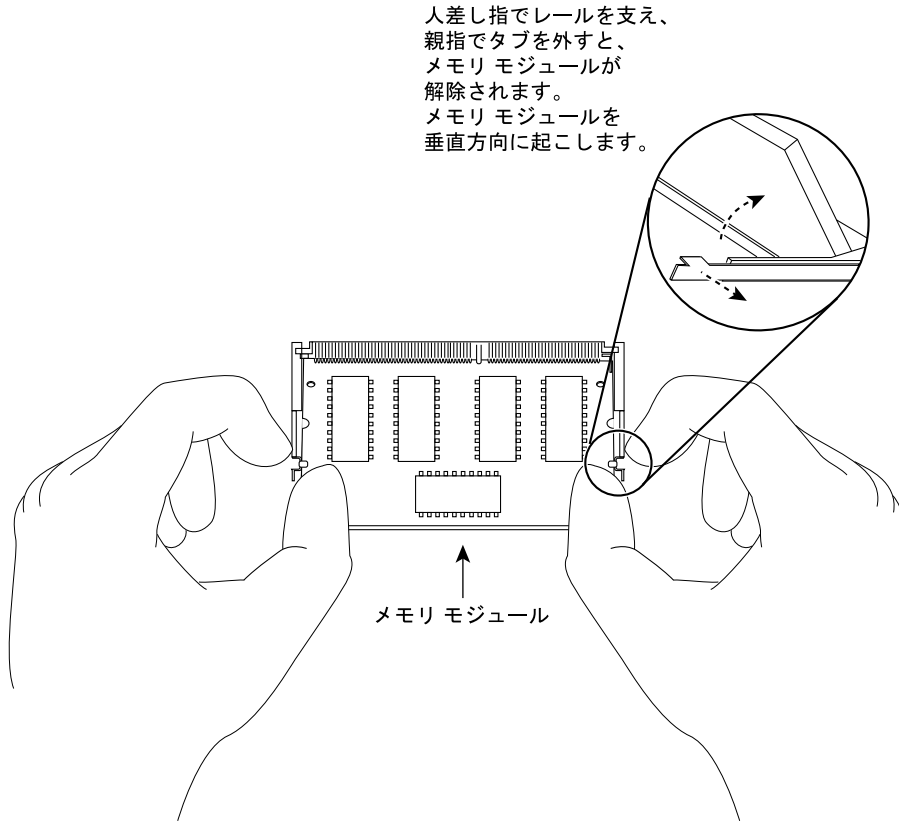
- ステップ 1** ESD による損傷を防止するために必要な対策を講じてください。
- ステップ 2** システムから OSM を取り外します (取り外しの手順は、「[スーパーバイザ エンジンまたはモジュールの取り外し](#)」 [p.3-14] を参照)。
- ステップ 3** OSM を静電気防止用マットまたはパッド上に置きます。
- ステップ 4** SODIMM の位置を確認します (図 C-1 を参照)。

図 C-1 SDRAM SODIMM の位置 — OSM



- ステップ 5** 取り外す SODIMM のスプリング クリップを外し、SODIMM をソケットから解除します (図 C-2 を参照)。

図 C-2 SODIMM のスプリング クリップの解除



- ステップ 6** SODIMM の両端がソケットから解除されたら、親指と人差し指で SODIMM の両端を持ち、ソケットから SODIMM を完全に引き出します。SODIMM を取り扱う際は、端だけを持ってください。メモリ モジュール、ピン、またはトレース (SODIMM のコネクタ側の金属フィンガ) には手を触れないでください。

- ステップ 7** 静電破壊を防ぐため、SODIMM を静電気防止用容器に収納します。

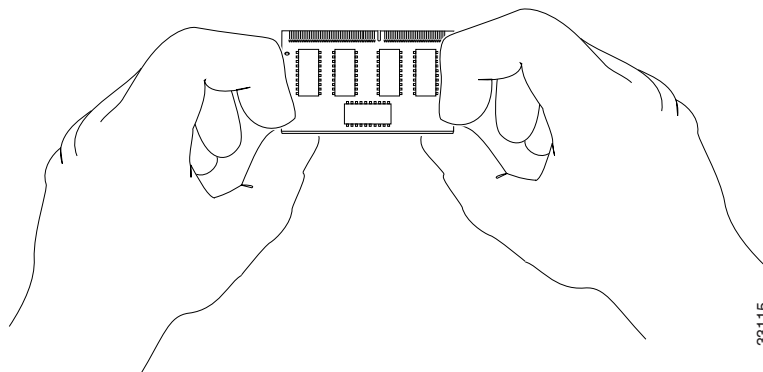
これで、SODIMM の取り外しは完了です。次に、新しい SODIMM の取り付け手順について説明します。

新しい SODIMM の取り付け

**注意**

SODIMM は、静電破壊を受けやすい部品です。取り扱う際は、端だけを持ってください。メモリモジュール、ピン、またはトレース（SODIMM のコネクタ側の金属フィンガ）には手を触れないでください（[図 C-3](#) を参照）。

図 C-3 SODIMM の持ち方



新しい SODIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 静電気防止用容器から新しい SODIMM を取り出します。
- ステップ 2** コンポーネント側を上向きにし、コネクタ側（金属フィンガ側）が向こう側になるようにして、SODIMM を持ちます。
- ステップ 3** SODIMM は、親指と人差し指ではさむようにして持ってください（[図 C-3](#) を参照）。
- ステップ 4** SODIMM をソケットと同程度の角度に傾けて、コネクタ側をソケット内に挿入します。

**注意**

SODIMM を挿入するときは、適度な力で押し込みます。ただし、力を入れすぎないように注意してください。ソケットを損傷すると、OSM を工場に返送して、修理することになります。

- ステップ 5** SODIMM を押し込み、スプリングクリップで固定します。
- ステップ 6** SODIMM を取り付けした後、2 つの位置合わせ用の穴を調べ、固定用のスプリングが見えているかどうかを確認します。見えない場合、SODIMM が正しく固定されていません。SODIMM が適正に取り付けられていない場合、注意深く取り外し、再度ソケットに取り付けてください。スプリングクリップで固定されるまで、SODIMM をしっかりとソケット内にはめ込みます。
- ステップ 7** OSM をシステムに元どおりに取り付けます（取り付け手順については、「[スーパーバイザ エンジン またはモジュールの取り付け](#)」[\[p.3-3\]](#) を参照）。

